

道ばたに見る春の草たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

エンドウのなかま



写真44 ヤハズエンドウ
4月，垂水区．



写真45 スズメノエンドウ
4月，灘区．

■ヤハズエンドウ（カラスノエンドウ）

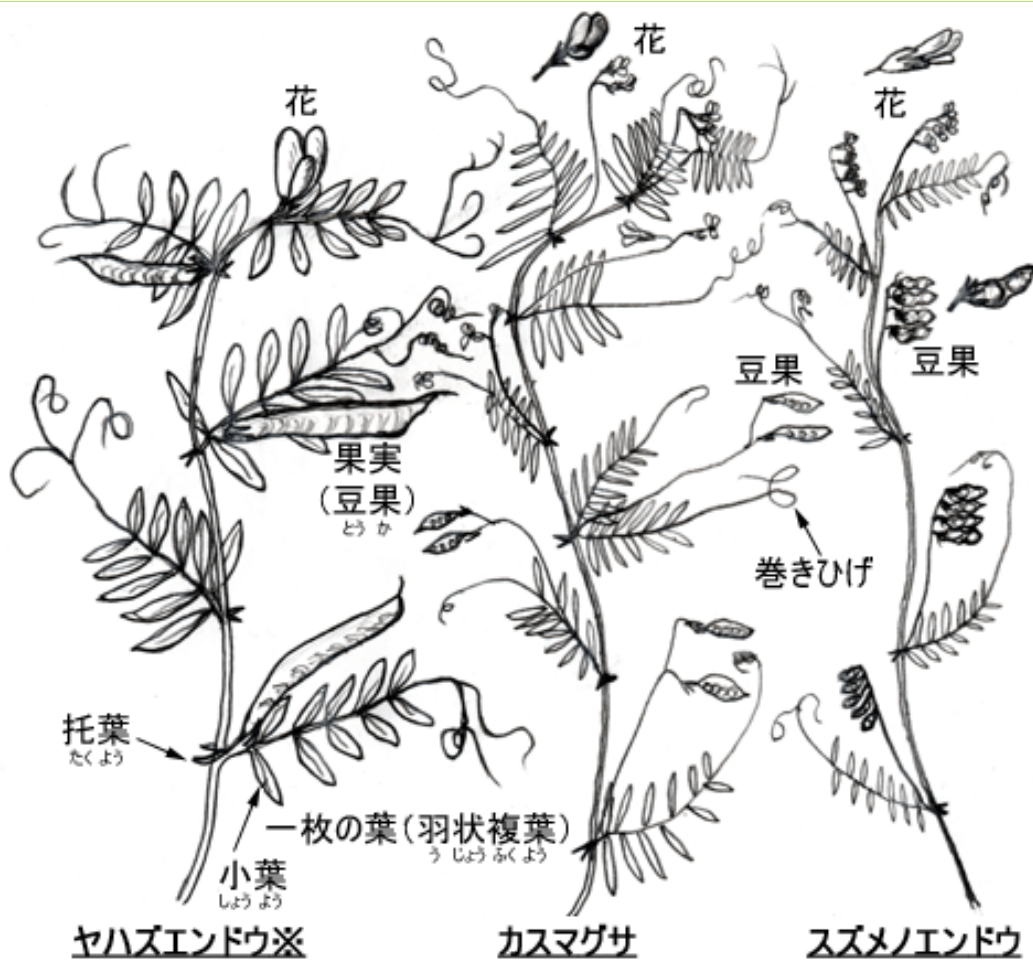
ヤハズエンドウ（写真44）は，歩道の植え込み，公園の片すみ，空き地の一角など，春になれば紫紅色の花でみなさんになじみの野草です．実が熟すると，カラスのように黒いさやとなりますので，ふつう，カラスノエンドウと呼ばれます．

■スズメノエンドウ

全体がカラスノエンドウよりずっと小さく，花をつけている柄が長いのですぐ見分けられます．人の踏みつけには耐えられませんので，フェンスや植木，背の高い草のまわりなど，通路から少し離れたところに生えています．

これとよく似ているのが，カスマグサで，下図を見て区別してください．

以上3つはいずれもレンゲ草と同じマメ科植物です．



左の図のほか、以下の点でも観察して比べてみよう。

1. 1枚の葉についている小葉の数、その形と大きさ（長さ、幅）、小葉の葉先の形など。
2. 巻きひげの分かれ方とその数、違いはあるだろうか？
3. たねの大きさ（10個ほどを一行につめてならべ、その長さを測る）
4. 托葉の形など。

※ヤハズエンドウはふつうカラスノエンドウと呼ぶ。

くらべてみよう

	草や葉の大きさ	花の色	花の柄の長さ	花の数	1 豆果の種の数
ヤハズエンドウ	大	濃紅紫色	ごく短い	1~2個	10個近く
カスマグサ	中	淡紅紫色	長い	ふつう2個	3~4個
スズメノエンドウ	小	白紫色	長い	4個ほど	2個

小葉の先がほんの少し凹んでいて
刺のようなものが出ている



ヤハズエンドウ

葉の先が尖っている



カスマグサ

ヤハズエンドウより小型で
小葉の先がほんの少し
凹んでいて刺のような
ものが出ている



スズメノエンドウ

ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)、カスマグサ、スズメノエンドウを比べる
葉先のように